



# 全国総会へ参

平成27年の県隊友会長等会同・定時総会が6月26日、東京のグランドヒル市ヶ谷で開催されました。会同の内容詳細は、すでに隊友新聞にも掲載され、また現在も隊



全国表彰を受賞したさつま支部

友会本部のホームページで閲覧できますので、細部は省略させていただきます。初めて参加した会長としての所感を述べさせて戴き報告に替えたいと思いま

は、終身会員廃止」に関する本部案に対し、各県から活発な意見交換が行われ活気あるものでした。

定時総会には防衛省副大臣や統幕・陸海空の幕僚長、郷友会・父兄会などの防衛協力諸団体の全国会長も参加され、表彰式には関東地区の部隊長や隊友会員も参列し受賞されていきました。

夜の懇親会には、県出身の宇都隆史議員なども参加され、参加者全員の隊友会歌の斉唱で閉め、翌日は防衛省内での募集協力者会同に参加という日程でした。

現在の全国隊友会の体制は、西元会長・先崎理

## 東郷記念日式典盛大に開催 日本海海戦110周年 鹿児島水文会

去る5月30日(土)は雨が降ったが、素晴らしい式典日和となりました。東郷元帥墓地は、鹿児島市多賀山公園の一角にあり、新緑の木々に囲ま

れ、錦江湾に浮かぶ雄大な三景にも負けないくらい

の景勝の地です。式典に先立ち、特に顕著なご協賛、ご貢献を賜った方々への感謝状贈呈

続いて先般、2月12日鹿屋航空基地のヘリコプターが遭難し、殉職された3名の隊員に対し哀悼の誠をこめた黙祷がありました。

式典は、10時32分鹿屋航空基地のP-3C単機の表敬訪問飛行を皮切りに、佐世保音楽隊が

奏でるラップ「君が代」のもと、従来の地本による軍艦旗のほか、大学生による国旗を、市民から募金、新設した掲揚塔に初めて掲揚することから始まり

お蔭様で、日本海海戦110周年を兼ねた相応しい記念日式典となりました。先ず、儀仗隊を従えた園田第一航空群司令による海上自衛隊参

拝が粛々と行われ、次いで式典実行委員長の立元四郎鹿児島水交會会長が式辞を述べ、引き続き、東郷家ゆかりの方々、国会議員を含む来賓、各界代表、協賛団体、企業等代表、一般参列者等約300人の方々が墓前に献

花されました。後半は、日本海海戦の歌を全員で合唱後、東郷元帥も生涯励んだといわれる、自願流の演武が豪快に実施され、小学生を含む10人が甲高い奇声を発し、一太刀必殺の気合で木刀を横木の束に打ち込む様子は、薩摩単人の凄さを感じさせるものでした。

続いて石塚崇隊長以下31人の佐世保音楽隊による墓前演奏は、東郷元帥ゆかりの曲目が力強く演奏され、深い感動を覚

えるとともに、元帥の偉業を偲ぶものとなりました。

終わりに、鹿児島水交會会長お礼の挨拶後、国

旗、軍艦旗の降下で終了しました。

本式典は、東郷元帥没(昭和9年)後の翌年、昭和鹿児島市が整備して

始めましたが、戦後中断され、これをみかねた海軍・海上自衛隊出身者が

中心となり、昭和29年から再開、毎年五月開催62回を数えます。今年

は、くしくも戦後70年の節目を祝い、数多くの

り開始いたしました。40℃を超える酷暑に隊員一同、閉口させられております。また、初めての異質な文化圏での各種調整に戸惑うこともありましたが、ジプチの方々がいかに非常に好意的で、気さくに声をかけて下さり大きな不安も無く勤務を開始したところでございます。

日頃培った技量を如何に発揮し、海賊対処活動の任務を完遂すべく気を引き締めて勤務する所存です。

隊員一同、不安無く任務に臨めますのも、偏に日頃からの皆様方の温かいご支援ご声援の賜物と感じております。特に出発前に頂きました温かいご支援は、我々の不安を拭い去り、やる気を奮い立たせていただけるものでありました。

まだまだ当地での任務は続きますが、海洋国家日本の国益を守るとともに、国際海洋秩序の確立

に貢献するため、隊員総員が一致団結し、全力を尽くして頑張ります。

27年8月吉日 第20次派遣海賊対処行動航空隊司令 一等海佐 北原浩一

先般、某新聞の投書欄に「スイスを訪問して現実を知り、すっかりイメージが変わった」と云う主旨の記事が目についた。

▼その要旨は長年、スイスは無軍備、戦争放棄の永世中立国で山岳観光や時計等の精密機械工業国との思いが強かったが、現地ガイドの「スイスは過去、他国の侵略を数多く受けたため、男は18歳になったら19週の軍事訓練を受ける義務がある事、52歳以下の男は現役の軍人として自宅に自動小銃を保管し、有事の際は全員が自動小銃を手にして戦う」との説明に現実の厳しさを知った由。

▼この筆者のように我が国の国民の大多数の人が同様な考えを持っているのではないだろうか。▼最近の「安民法制」や「集団的自衛権」に対する国民の反応がそれを示している様な気がする。▼こと「安全保障」等国の存立の骨幹に関する事は性善説に基づく情緒的、観念的な考えを排し、厳しい目で現実を直視しなければならぬ。

▼某国のミサイルが飛んできた時、某々国に何処かの島を不法占拠されたりと大きなインパクトがないと、我が国の国民は平和ボケの寝床から目が覚めないのかも知れない

鹿屋航空基地のP-3C単機の表敬訪問飛行を皮切りに、佐世保音楽隊が

奏でるラップ「君が代」のもと、従来の地本による軍艦旗のほか、大学生による国旗を、市民から募金、新設した掲揚塔に初めて掲揚することから始まり

お蔭様で、日本海海戦110周年を兼ねた相応しい記念日式典となりました。先ず、儀仗隊を従えた園田第一航空群司令による海上自衛隊参

拝が粛々と行われ、次いで式典実行委員長の立元四郎鹿児島水交會会長が式辞を述べ、引き続き、東郷家ゆかりの方々、国会議員を含む来賓、各界代表、協賛団体、企業等代表、一般参列者等約300人の方々が墓前に献

花されました。後半は、日本海海戦の歌を全員で合唱後、東郷元帥も生涯励んだといわれる、自願流の演武が豪快に実施され、小学生を含む10人が甲高い奇声を発し、一太刀必殺の気合で木刀を横木の束に打ち込む様子は、薩摩単人の凄さを感じさせるものでした。

続いて石塚崇隊長以下31人の佐世保音楽隊による墓前演奏は、東郷元帥ゆかりの曲目が力強く演奏され、深い感動を覚

えるとともに、元帥の偉業を偲ぶものとなりました。

終わりに、鹿児島水交會会長お礼の挨拶後、国

旗、軍艦旗の降下で終了しました。

## 海賊対処部隊便り 第20次派遣遺隊(鹿屋)

残暑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この程、我々の派遣に際しましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

異質な文化圏での各種調整に戸惑うこともありましたが、ジプチの方々がいかに非常に好意的で、気さくに声をかけて下さり大きな不安も無く勤務を開始したところでござい

ます。日頃培った技量を如何に発揮し、海賊対処活動の任務を完遂すべく気を引き締めて勤務する所存です。

隊員一同、不安無く任務に臨めますのも、偏に日頃からの皆様方の温かいご支援ご声援の賜物と感じております。特に出発前に頂きました温かいご支援は、我々の不安を拭い去り、やる気を奮い立たせていただけるものでありました。

まだまだ当地での任務は続きますが、海洋国家日本の国益を守るとともに、国際海洋秩序の確立

に貢献するため、隊員総員が一致団結し、全力を尽くして頑張ります。

27年8月吉日 第20次派遣海賊対処行動航空隊司令 一等海佐 北原浩一

先般、某新聞の投書欄に「スイスを訪問して現実を知り、すっかりイメージが変わった」と云う主旨の記事が目についた。

▼その要旨は長年、スイスは無軍備、戦争放棄の永世中立国で山岳観光や時計等の精密機械工業国との思いが強かったが、現地ガイドの「スイスは過去、他国の侵略を数多く受けたため、男は18歳になったら19週の軍事訓練を受ける義務がある事、52歳以下の男は現役の軍人として自宅に自動小銃を保管し、有事の際は全員が自動小銃を手にして戦う」との説明に現実の厳しさを知った由。

▼この筆者のように我が国の国民の大多数の人が同様な考えを持っているのではないだろうか。▼最近の「安民法制」や「集団的自衛権」に対する国民の反応がそれを示している様な気がする。▼こと「安全保障」等国の存立の骨幹に関する事は性善説に基づく情緒的、観念的な考えを排し、厳しい目で現実を直視しなければならぬ。

▼某国のミサイルが飛んできた時、某々国に何処かの島を不法占拠されたりと大きなインパクトがないと、我が国の国民は平和ボケの寝床から目が覚めないのかも知れない

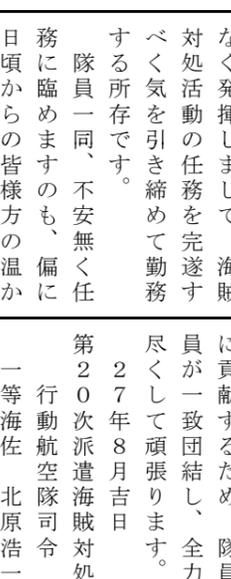
鹿屋航空基地のP-3C単機の表敬訪問飛行を皮切りに、佐世保音楽隊が

奏でるラップ「君が代」のもと、従来の地本による軍艦旗のほか、大学生による国旗を、市民から募金、新設した掲揚塔に初めて掲揚することから始まり

お蔭様で、日本海海戦110周年を兼ねた相応しい記念日式典となりました。先ず、儀仗隊を従えた園田第一航空群司令による海上自衛隊参

拝が粛々と行われ、次いで式典実行委員長の立元四郎鹿児島水交會会長が式辞を述べ、引き続き、東郷家ゆかりの方々、国会議員を含む来賓、各界代表、協賛団体、企業等代表、一般参列者等約300人の方々が墓前に献

花されました。後半は、日本海海戦の歌を全員で合唱後、東郷元帥も生涯励んだといわれる、自願流の演武が豪快に実施され、小学生を含む10人が甲高い奇声を発し、一太刀必殺の気合で木刀を横木の束に打ち込む様子は、薩摩単人の凄さを感じさせるものでした。



出発時に激励金を手渡す会長

## 文官統制廃止に思う 相談役 中原敏實

平成27年3月6日、防衛省で内部部局の背広組が制服自衛官の優位に立つ「文官統制」を全廃する同省設置法改正案が閣議決定され、通常国会に提出されたと報じた。

早速何時ものようにマスコミは食らいついてきた。万一の暴走を阻止する「安全弁」が消失することに懸念が広がる。陸

海・空が暴走したら止められなくなる。内局部員の半数超が反対、特に若手に多い等等、誠にや

かにセンセーショナルに報じた。自衛隊は、昭和25年警察予備隊として発足以

来そのような歴史的事実は皆無にも拘らず、マスコミは何かあったら自衛

隊、軍艦旗の降下で終了しました。

本式典は、東郷元帥没(昭和9年)後の翌年、昭和鹿児島市が整備して

始めましたが、戦後中断され、これをみかねた海軍・海上自衛隊出身者が

中心となり、昭和29年から再開、毎年五月開催62回を数えます。今年

は、くしくも戦後70年の節目を祝い、数多くの

り開始いたしました。40℃を超える酷暑に隊員一同、閉口させられております。また、初めての異質な文化圏での各種調整に戸惑うこともありましたが、ジプチの方々がいかに非常に好意的で、気さくに声をかけて下さり大きな不安も無く勤務を開始したところでござい

隊は暴走するとの先入観を持って、天下の公器を操る。私は「有事法制」が確定された平成17年4月県隊友会長として新聞(南日本)記者、テレビ(鹿児島放送)記者の単独インタビューを受けた。テレビは約3分の生放送新聞は1面六分の一のス

ペース記事として掲載された。その一部を参考までに再録したい。

「自衛官が政治的発言をするとうなるか。一番いい例は昭和53年の「栗栖事件」だ。栗栖弘臣統幕議長が、法に穴があるの、自衛隊は奇襲攻撃を受けても首相の

防衛出動命令が出るまで動けない。しかし任務遂行上、現地部隊が超法規的行動をとることはあり

得る」と率直に問題を提起した。これが文民統制上、不適切として、当時の金丸信防衛庁長官から首にされた。でも自衛隊が動くルールが無いという

ことはやはり問題だろう。動くルールがあれば、暴走などありえないが、

ルールが無いところで動かさなければ暴走になりかねない。もちろん私は自衛隊が暴走するとは全く考えない。何と云っても民主主義を基本としたシビリアンコントロール」と言う教育の中で育った人達が自衛隊員だから。昭和45年に作家の

三島由紀夫「が自衛隊に決起を呼びかけた事件があったが、逆に「自衛隊をなめるな」とやじられたほどだ。さらに世界情勢も大国がぶつかるような時代は終わって、国連中心主義になってきて

いる。自衛隊が独り歩きするとか、暴走するというのは取り越し苦労だ」以上の再録は時代は変わっても、今回のマスコミ報道に対する自衛隊の主張として十分通じるものがあると思いで記事として発表したものであ

**記事募集**

一 内容 身近な話題・家族作文等

二 送付先 〒891-0203 喜入町544の1 春田博明

三 メール 090(4519)3025 090(4519)3025

address@6662

mail@ccog.com

## 帰線

先般、某新聞の投書欄に「スイスを訪問して現実を知り、すっかりイメージが変わった」と云う主旨の記事が目についた。

▼その要旨は長年、スイスは無軍備、戦争放棄の永世中立国で山岳観光や時計等の精密機械工業国との思いが強かったが、現地ガイドの「スイスは過去、他国の侵略を数多く受けたため、男は18歳になったら19週の軍事訓練を受ける義務がある事、52歳以下の男は現役の軍人として自宅に自動小銃を保管し、有事の際は全員が自動小銃を手にして戦う」との説明に現実の厳しさを知った由。

▼この筆者のように我が国の国民の大多数の人が同様な考えを持っているのではないだろうか。▼最近の「安民法制」や「集団的自衛権」に対する国民の反応がそれを示している様な気がする。▼こと「安全保障」等国の存立の骨幹に関する事は性善説に基づく情緒的、観念的な考えを排し、厳しい目で現実を直視しなければならぬ。

▼某国のミサイルが飛んできた時、某々国に何処かの島を不法占拠されたりと大きなインパクトがないと、我が国の国民は平和ボケの寝床から目が覚めないのかも知れない

鹿屋航空基地のP-3C単機の表敬訪問飛行を皮切りに、佐世保音楽隊が

奏でるラップ「君が代」のもと、従来の地本による軍艦旗のほか、大学生による国旗を、市民から募金、新設した掲揚塔に初めて掲揚することから始まり

お蔭様で、日本海海戦110周年を兼ねた相応しい記念日式典となりました。先ず、儀仗隊を従えた園田第一航空群司令による海上自衛隊参

拝が粛々と行われ、次いで式典実行委員長の立元四郎鹿児島水交會会長が式辞を述べ、引き続き、東郷家ゆかりの方々、国会議員を含む来賓、各界代表、協賛団体、企業等代表、一般参列者等約300人の方々が墓前に献

花されました。後半は、日本海海戦の歌を全員で合唱後、東郷元帥も生涯励んだといわれる、自願流の演武が豪快に実施され、小学生を含む10人が甲高い奇声を発し、一太刀必殺の気合で木刀を横木の束に打ち込む様子は、薩摩単人の凄さを感じさせるものでした。

# 会長の4年間に感

東日本大震災直後の平成23年4月に公益社団法人隊友会が誕生し、その5月に県隊友会長に承認されました。私的な仕事と調整を図り県隊友会に二人の会員を派遣しました。この大震災の教訓を踏まえ、平成25年3月、県知事と県隊友会長が「天規模災害時における隊友会の協力に関する協定書」を締結し、県民の生命、身体及び財産を守る体制が築けました。



川畑初夫前県隊友会長

慰霊顕彰事業は、新たに県知事主催の戦没者慰霊祭、比島戦没者慰霊祭に担任して頂き数回の回上検討後、9月1日に全体的大会支援要員に現地にお集まり頂き、会場周辺での誘導、駐車場の案内、ホテルでの受付要領に続き各行事の進行要領の予行を全員参加で実施して、情報を共有し、会員一人一人がおもてなしの心を持って遇すること、本大会を成功に導く」とお願いしました。

4年間に過ぎることが出来た。最初の公益事業は、東日本大震災に係る被災地防災ボランティア活動への会員派遣で、宮城県に二人の会員を派遣しました。この大震災の教訓を踏まえ、平成25年3月、県知事と県隊友会長が「天規模災害時における隊友会の協力に関する協定書」を締結し、県民の生命、身体及び財産を守る体制が築けました。

幸いだっただけでなく、隊友会活動の基盤となる隊友会事務所をJPSOのご協力で開設できたこと一度訪問して下さい。さて4年間の最大行事を九州沖縄ブロック研修会と位置付け、台風襲来の恐れはあるが参加者を霧島高原の涼風でもてなそうと、平成25年9月7日霧島ロイヤルホテルでの実施としました。主要行事は、各副会長

# 「防災訓練」に参加



避難者の避難誘導にあたる国分隊友会員達

5月21日に霧島市の防災訓練が溝辺上床公園・溝辺支所周辺で行われ、国分支部 支部長 宮ノ原 拓は14名参加した。隊友会の担当課目は、住民の避難訓練、避難所受付含む、幼稚園児の避難訓練であり、3ヶ所に分かれて訓練した。内容は避難場所への「誘導」

であり、全般的には打合せ通り実施出来たが、山間部では避難の放送が聞こえなかったり、資・器材が計画通り揃ってない慌てたりした。防災訓練で感じた事は自分が住んでいる地域の特性に応じて訓練をしておく必要がある、特に避難訓練は「命」を守るという観点から重要であると思っただけでなく、天災は忘れた頃にやってくる」と言われているが、災害はいつでも、どこでも起きる」と言っても過言ではない。

地球の温暖化・エルニニョ等による世界の異常気象、日本では地震（津波）、火山の噴火、暴風雨等による土砂災害が最近頻りに発生している。隊友の皆さん地域の防災対策は大丈夫ですか？家族を含めて市民とともに防災意識を高めていきましょう。

# 戦没者墓地が綺麗に



鹿児島地区協議会員と町内会合同の墓地清掃

平成27年8月22日（土）9時から隊友会鹿児島地区協議会は、永吉町の永吉公園内にある鹿児島戦没者墓地において清掃活動を行った。当日は朝早く1時間前に来て準備する会員もいたが、暑いこの時期に会員21人及び永吉町内会長以下20人が集まってくれた。大感謝でした。地域内の清掃、草刈や東支部長の圧力放水器による墓石の苔おとし等の作業を実施した。多数の人員による作業であったが、予定よりも早いぶん早く終了したが、最後に墓石前には花瓶の積み重ねを交換して参拝し、すがすがしい気持ちで墓地を後にした。

鹿児島地区協議会 事務局長 後藤光一 記

# 空自移動警戒隊の



移警隊の展開機材(雨でバス内から研修)

金峰父兄会発起で、金峰隊友会賛同参加、6月14日（日）午前10時、梅雨期で雨の降る中、金峰文化センターを坊津風車跡地）に向かう。当日は心配した台風も足早に立ち去り素晴らしい秋晴れの下、おもてなしの心で迎えて頂き感謝でした。本大会での隊友会歌唱が隊友会歌復活のきっかけとなり、歴史に新たな1頁を刻みました。4年間に亘る、ご協力有難うございました。

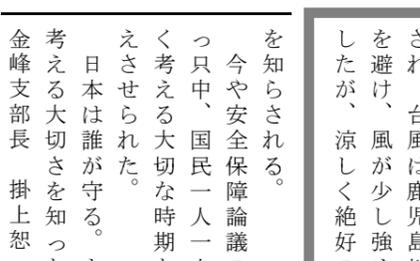
# プラス1活動山歩き

5月30日土曜日、国分支部 支部長 宮ノ原 拓は、えびの高原池めぐり（山歩き）&ミヤマつつじ散策観賞会を実施し、66人が参加した。最高の日和に恵まれ、2台のバスでシビックセンターを8時出発、9時にホテル到着、早速行動を開始した。3コースに分かれての行動だったが殆どの参加者が健康状態良好とばかり、池めぐりに赴いた。池めぐりコースは最も親しまれているコースで林野庁により、森林浴の森百選）日本ウォーキング協会により、歩きたくなる道五百選）に選ばれている。自然との一体感を感じたことのない経験にみんな満足した。

11時から源泉掛け流しの温泉で癒し、12時からホテル自慢料理でビール、焼酎を飲みながらゲーム、手品、カラオケで楽しく過ごした。

隊友会国分支部 山歩き&ミヤマキリシマつつじ鑑賞会参加記念 平成27年5月30日（土曜日） 於：えびの高原 庄 えびの高原の散策等を楽しんだ国分支部会員達

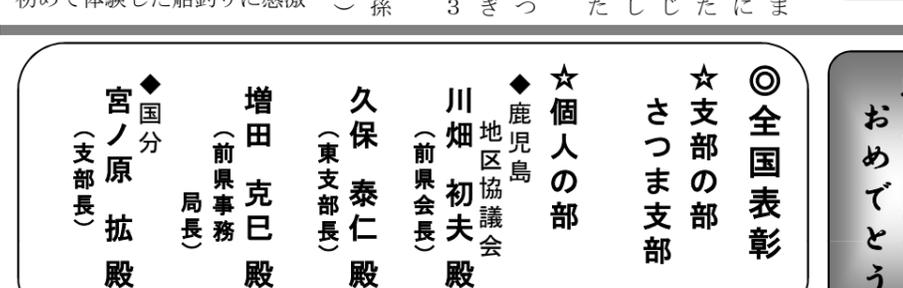
# 月例会ゴルフを満喫 隊悠会



和気藹々の隊悠会ゴルフメンバー

隊悠会7月例会を7月16日（木）入来城山カントリークラブにおいて会員25人の参加を得て開催いたしました。台風11号の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、会員一同の勢いに押され、台風は鹿児島地区を避け、風が少し強めでしたが、涼しく絶好のゴルフ知らされる。今や安全保障論議の真只中、国民一人一人よく考える大切な時期と考えさせられた。日本は誰が守る。よく考える大切さを知った。金峰支部長 掛上 恕 記

# 初の船釣りに感激



初めて体験した船釣りに感激

なつやすみに、ぼくはかごしまのじいじといっしょに、さかなつりにいきました。はじめてふねのつりでした。じいじがふねをうんでんしているのを見て、いつかぼくもやってみたいとおもいました。さいしよは、ふねがゆれるのがすごくこわかったです。でも、さかながつれたのしかなかったです。さかなはすごくおもくて、いとをまくのがたいへんで、すごくつかれました。だから、じいじにたづねたつりは、あじをよるごはんでたべました。すごくおいしかったです。またふねのつり、つりにいきたいです。つぎは、ぱばもいっしょに3にんでいきたいです。喜入支部 春田会員の孫 西嶋 優くん（6歳）

謹んでご冥福を

◆瀬戸内支部 石黒 紀夫

◆始良支部 平瀬 甲子郎

◆鹿児島地協 福池 保雄

◆船附 俊男

◆国分支部 谷山 芳彦

◆田代 四朗

◆妙円園 ミヤ (家族会員)

◆晴れの受賞 おめでとう

◎全国表彰

★支部の部 さつま支部

★個人の部 ◆鹿児島地区協議会

川畑 初夫殿 (前県会長)

久保 泰仁殿 (東支部長)

増田 克巳殿 (前県事務局長)

◆国分 宮ノ原 拓殿 (支部長)

◆国分 次長 早崎勝美 記

### 清掃奉仕作業に汗



同一エフオム・識別帽での奉仕作業

知名支部 支部 吉田末次は、7月30日に知名町ふるさと夏祭り会場となる白浜漁港の清掃奉仕作業に17人が参加した。作業の主催は、鹿児島県沖永良部事務所建設業協会や商工会など合同で、総勢百人余りが炎天下の中で汗を流しながら、可燃物、不燃物等に仕分け運搬車に積み込

み、可燃物、不燃物等に仕分け運搬車に積み込んで約3時間半で作業は終了した。参加者は、全員のユニフォームと識別帽子を着用して隊友会のPRにも努めた。終了は、まだまだ明るい時間ではあったが作業後の集まりを楽しみにしている会員が殆どで、早い時間から楽しみ会が始まり多に盛り上がった。なお、この奉仕作業は支部発足の平成24年から続いており今後、恒例の支部活動の予定である。また、支部としては、9月1日に知名町主催の防災訓練に参加するとともに10月には戦没者慰霊碑の清掃、草刈り作業も計画している。

知名支部長 吉田末次 記

### 叙勲受章(前菌氏)

喜入支部 支部長 堀奉文は、6月20日マリニア喜入において、前菌裕行会員の瑞宝単光章の叙勲受章祝賀会を実施した。祝賀会には、来賓として鹿児島県剣道連盟会長竹原光則氏及び地元鹿児島市議会議員堀純則氏他会員16人、地元同級生2人の計21人が参加した。



全員での記念写真 中央が前菌御夫妻

堀支部長の発起人挨拶に始まり、竹原県剣道連盟会長及び堀市議会議員の祝辞、海自村光吉最高齢会員によるお祝いの吟詠、同期の前原正明会員による乾杯の後、懇親会を実施し大いに盛り上がった。

宴たけなわの途中、中菌会員から前菌氏の祖父から頂いたという帯を形見として手渡され、大感激する場面もあった。また、記念品として「デジタルカメラ」の目録を堀支部長から贈呈され更に感懐されていた。懇親会の終盤には、本受章最大の貢献者である

奥様も駆けつけ宴もいよいよ佳境となった。最後に、本人から謝辞があり、年齢的に遅かったのでもらえないと思っていたが、叙勲受章の通知を頂いた時には大変嬉しかった。今思えば、妻の内助の功と良き上司・先輩等に恵まれたお蔭です。」と感謝の言葉を述べられた。

その後、全員での記念写真撮影と万歳三唱の音頭で隊友会喜入支部での初めての叙勲受章祝賀会は幕を閉じた。

喜入支部 春田博明 記

### 会員紹介

鹿児島地協名越春男氏



野菜作りの名人 名越春男氏

趣味と実益を兼ねた野菜作りの名人である西支部三分会長の名越氏を紹介したい。

名越氏は、現在、鹿児島市下伊敷在住で奥様と二人暮らしの74歳である。自衛隊を退職後、会社勤務の傍ら、鹿児島市犬迫にある都市農業センターの貸農地及び同地区の空耕作地を借用し、年間を通じて、四季折々に野菜作りをしている。

私も隊友会新聞を月に一度、届ける際にお裾分けで新鮮な野菜を頂戴している。白菜等の葉野菜から、じゃがいも等の根野菜はもちろんのことであるが「ワコン」等の、希少な野菜までその種類は多種に及んでいる。無農薬ながら八百屋さんで売っているものに勝るとも劣らない立派な品ばかりで驚嘆する。

名越氏の野菜作りは、自宅の一角に種から苗を育てる苗床を作成し、それぞれ、逐年の作物日誌から植え付けの時期を決め育てている。

名越氏曰く、作物は、気象、肥料、土壌、苗等いろいろな条件があり、結構、難しく出来栄が良かったり悪かったりする。だからこそ、収穫の喜びはまた格別である」と。

また、毎日のように奥様と農園に通い、同じ野菜作りの仲間との話らしいそして土いじりの後、健康の森公園内の温泉プールで体を解し、帰宅。その日の収穫の野菜をつまみに焼酎を嗜む至福の時間を味わうのが日課で、健康の秘訣であるとのこと。野菜作りに興味のある方は是非、名越氏にご相談ください。

鹿児島地区協議会 西支部長 永田真一 記

### 私の趣味

私は現在12普通 国分駐屯地

重迫撃砲中隊に所属し有線陸曹として、また連隊音楽部員として部内演奏することがとても好きなのですが、音楽を楽しむ傍ら、レザークラフトという趣味を持っています。レザークラフトとは革を使い靴や財布等様々な物を作ることです。

始めに、本人から謝辞があり、年齢的に遅かったのでもらえないと思っていたが、叙勲受章の通知を頂いた時には大変嬉しかった。今思えば、妻の内助の功と良き上司・先輩等に恵まれたお蔭です。」と感謝の言葉を述べられた。

その後、全員での記念写真撮影と万歳三唱の音頭で隊友会喜入支部での初めての叙勲受章祝賀会は幕を閉じた。

喜入支部 春田博明 記



簗輪善輝2等陸曹とその作品



思いつきで、しかも手探りで始めたので、初めて作った革の身分証明書のケースは、とても不格好な物でした。不格好ではありましたが作っている時間は楽しく、また自分で時間をかけて作った物なので愛着もわき時間があれば次々と色々な物を作るようになりました。

出来上がるまでに時間もかかり作業も地味なのですが、一枚の革がそれぞれの部品に切り出され縫い合わせるための穴を空け、一枚一枚縫い合わせて出来上がっていくのはとても楽しいです。

初めは上手く出来ませんでしたでしたが、今では依頼されることもあり出来上がった物を渡すと、とても喜んでもらえるので幸せな気持ちになります。因みに連隊広報班長にも愛用してもらっています。今後も、よい物を作れるよう余暇を活用して楽しく作り続けていきたいと思っております。

重迫中隊 簗輪2曹 記

### 思い出随想

南さつま支部菊野和郎



筆者 菊野和郎氏

春晴れて間もなく、真っ直ぐに咲く八重桜散りては残る靖國の社。南進する特攻機を仰ぎ見上げてお見送りした。特攻隊員は人生を諦め思い切りよく突入したのではない美談を残すは論外。日本国を憂い、大和民族を恋し愛して南溟に散華された。

人は生きてる限り死にたくはない。よく食べよく寝る。英霊は、醜(もこ)の御楯として空飛び宙返りスクランブルして敵を打ち懲らしの轟沈、海底に突き落とし

南さつま支部 菊野和郎 記

### 納涼大会で暑気払い

鹿児島地区協議会



真夏のひと時を大いに楽しんだ会員達

鹿児島地区協議会は、平成27年8月1日、絶景の錦江湾を見下ろす錦江高原ホテル屋外ピヤガーデンにおいて恒例の納涼大会を開催した。今回は40人の参加があり、その中でも半数が70代と高齢化が進む中久しぶりの再会にビールを片手に話がはずんだ。

会も中盤のほろ酔い気分となった頃、若さ溢れる女性のベリーダンスが始まり、参加者全員が目愛用してもらっています。今後も、よい物を作れるよう余暇を活用して楽しく作り続けていきたいと思っております。

重迫中隊 簗輪2曹 記

### スポーツ振興で大臣

この度、スポーツ推進委員 体育指導員含む



受賞者 前田健二郎氏

この度、スポーツ推進委員 体育指導員含むとして地域スポーツの推進に功績顕著な者として平成26年度スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

体育指導員及びスポーツ推進委員として30年以上、陸上競技審判員も50年務めており、これらの功績で永年功労賞も

頂きました。大好きなスポーツを通して長く社会貢献をしたことへの表彰は大変嬉しく、健康な体があつてこそその貢献であり、このような丈夫な体を授けてくれた両親に今更ながらに感謝いたしております。

困難な状況にあつても健康であれば乗り越えられることが多々あることを長い人生の中で実感し

未来を担う子供達にも、今までも頑張り続けてきた同輩の方々にもお伝えすべく、今後も周りの方々の協力を得ながら、社会貢献の

一環として元気に頑張っていきたいと思っております。 前田健二郎 記

名越氏の野菜作りは、自宅の一角に種から苗を育てる苗床を作成し、それぞれ、逐年の作物日誌から植え付けの時期を決め育てている。

名越氏曰く、作物は、気象、肥料、土壌、苗等いろいろな条件があり、結構、難しく出来栄が良かったり悪かったりする。だからこそ、収穫の喜びはまた格別である」と。

また、毎日のように奥様と農園に通い、同じ野菜作りの仲間との話らしいそして土いじりの後、健康の森公園内の温泉プールで体を解し、帰宅。その日の収穫の野菜をつまみに焼酎を嗜む至福の時間を味わうのが日課で、健康の秘訣であるとのこと。野菜作りに興味のある方は是非、名越氏にご相談ください。

鹿児島地区協議会 西支部長 永田真一 記

**防衛省団体扱い自動車保険(指定店)**  
この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

**なんと19%割安**です

\*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………  
連絡先: **099-229-4103**  
FAX: 099-229-5176

〔引受保険会社〕  
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島  
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康 (隊友会員)

自衛隊シリーズ 8

奄美基地分遣隊の紹介

奄美大島の地理的位置は、鹿児島港から名瀬新港まで約380km、沖縄那覇港から名瀬新港までは約320kmで九州と沖縄のほぼ中間にあり、奄美基地分遣隊は奄美大島の南西部の瀬戸内町古仁屋に所在する部隊です。名瀬新港から古仁屋まで



正門から見た奄美基地分遣隊

は車で約1時間かかります。基地の目前にある大島海峡は本島と加計呂麻島に囲まれ、大変風光明媚な所でありますが、第二次世界大戦では波穏やかな入江が連なることから天然の軍事要塞として南方戦線へ向かう艦船の中継基地として重要な役割を担っていました。また、その加計呂麻島にある瀬相岸壁は旧海軍大島防備隊司令部の跡地で、現在、瀬相海軍慰霊碑が祀られています。さて、奄美基地分遣隊は、昭和37年2月に佐世保防備隊奄美基地分遣隊として開隊し、同年3

自衛隊勤務を振り

月には、通信所を開設し艦艇に対する通信中継等を開始しました。45年10月、部隊の編制替えにより佐世保警備隊に編入、平成24年3月には艦艇の衛星通信能力の向上により、中継業務が不要となったため、通信所が廃止され現在に至っており、基地の維持管理等を担当する総務科、警備等を担当する警備科、経理等を担当する補給科から編成されています。瀬戸内町は海上自衛隊のみならず自衛隊に対する町民感情が極めて良くこれを更に向上させ、自衛隊の信頼をより高めていくため地域交流の輪をもっと広げ地域に貢献するとともに地域に信頼される奄美基地分遣隊であり続けられるよう地域が主催する自治体との総合

自衛隊生活を振り返って思い起こせば、昭和57年に海上自衛隊に入隊し、海曹時代は、下総、横須賀に、幹部任官後は沖縄、下総、徳島と勤務しながら最終勤務地と希望した鹿屋勤務となりました。航空機整備一筋から、様々な配置勤務を経験し



鹿屋航空基地 新留1尉

平成26年8月からは、就職支援室長として、主に定年退職者の就職支援に携わっています。最初は不安もありましたが、1年が過ぎ就職支援に向け実践修行する毎日です。個人の望む就職先を探すのは、鹿屋の地ではなかなか厳しい状況です。1次産業、看護・介護建設、警備関連等は求人が多いのですが、設備管理、事務職関連、公務関連は競争率が高いです。今現在、援護員4人、就職支援相談員1人の助力を得ながら実施しています。

退職者の数も私が着任前は103人、その後85人と他の部隊に比べれば鹿児島出身者が多い関係上、最後は地元での就職を希望されています。多少時間と労力を要しますが、何とか定年退職者を再就職させることができているのは、本人の努力、援護員の努力、企業及びハローワークからの求人情報、援護協力者等のご支援があるからと感謝しております。

定年退職後は、自衛隊勤務で培った経験を活かして、地域社会に貢献できるように柔軟性を持って努力していきたいと思っています。援護室勤務において感じたことですが、退職される方は早めに援護室に向き、現在の地域求人情報等を必要資格を確認して自分ができる仕事はあるのか、給与はどれくらいか、現状を直視して次のライフワークへの指針を考へる必要があることだと思います。

鹿屋 就職支援室 新留義秋1尉 記

私の趣味「SUP」

川内駐屯地 藤原勝

私の趣味はSUPです。SUPとは「STAND UP PADDLE」の略称です。SUPは浮力の強いサーフボードに立ち、パドルで漕ぐ新しいウォータースポーツです。サーフィンの聖地ハワイ発祥の新興アクティビティで、近年は日本各地でも人気で知名度も高くなりました。

飛行展示はT-4練習機が雲の切れ間を低空で飛行し来場者はカメラを片手に盛り上がりを見せた。

また、鹿児島地方協力本部による自衛隊制服の試着、ゆるキャラ登場で子供達とその保護者から大好評であった。

川内駐屯地 第2中隊 2等陸曹 藤原勝 記

60周年を盛大に祝う

下甕島分屯基地

下甕島分屯基地は8月30日基地創設60周年記念行事を開催し、国会議員をはじめ、基地協力団体、一般の方々を含め約300人が来隊した。小雨と霧で視界不良のため、ヘリコプターの体験搭乗は残念ながら中止となったが、記念式典及

び基地協力者への感謝状贈呈式、併せて薩摩川内市父兄会50周年記念植樹が行われた他、ガメラリーダー見学、装備品展示等を実施し、6年ぶりとなる西空音楽隊演奏は大いに盛り上がった。

また、隊員による下甕島伝統芸能「田羽踊り」を披露し、来場者の方からも高い評価を頂き大きな喝采を浴び、祝賀会場では、陸上自衛隊による「焰児太鼓」の力強いパフォーマンスに会場は魅了され、大盛況で下甕島分屯基地創設60周年は終了した。

さらに隊員による下甕島伝統芸能「田羽踊り」を披露し、来場者の方からも高い評価を頂き大きな喝采を浴び、祝賀会場では、陸上自衛隊による「焰児太鼓」の力強いパフォーマンスに会場は魅了され、大盛況で下甕島分屯基地創設60周年は終了した。

私がSUPを始めることになったきっかけは、3年前膝の怪我で入院しているときに読んだ雑誌の中にSUPの記事が載っており、好奇心旺盛な私は、退院後のリハビリにもなると思い、始めたのがきっかけでした。

退院後、早速サーフィショップに行き、SUPをレンタルし乗って見たところ、非常に面白かったため、よし！これは買って始めよう！と決意し板を購入しました。

現在では、SUPレースを主に、国内の大会やイベントに出場し、成績を残せるまでに上達しました。今後は、国内はもちろん、海外で行われる

大会にも出場できるよう日々、トレーニングを頑張っています。川内、海及び水辺ならどこでも楽しめるスポーツで、大人から子供まで初めてでも乗ることができるので、運動が得意ではない方にも人気です。家族や仲間と一緒に楽しめるので、ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。

川内駐屯地 第8施設大隊 藤原勝 記

私には、鹿児島地方協力本部による自衛隊制服の試着、ゆるキャラ登場で子供達とその保護者から大好評であった。

川内駐屯地 第2中隊 2等陸曹 藤原勝 記

川内駐屯地 第8施設大隊 藤原勝 記



くり舟競漕に参加する自衛隊チーム

沖永良部島分屯基地・第55警戒隊は、南西の防人として即応の態勢を維持するとともに、現在は監視態勢の更なる強化の為に新型リーダー導入の施設整備を推進しているところであり、日々の任務に邁進する一方、我が分屯基地に

おいては地域との関係を活かせるために、毎年、知名町ふるさと夏祭り（知名町の夏祭り）& 大山祭（第55警戒隊の夏祭り）を町の方と共に開催しています。その祭りの中で、くり舟と呼ばれる競技に自衛隊チームとして参加をしています。くり舟競漕というのは那覇ハーリーに似たようなもので、漕ぎ手が8人、船頭が1人、舵が1人の計10人で漕ぐ小さな舟のことであり約30チームがそれぞれの職場、職種でチームを組み優勝を争うという町の一大会です。今年、昨年のように入賞はできなかったもの

の、日頃触れ合うことのできない住民の方々と親交が深まり楽しい時間を過ごすことができました。来年度以降においても積極的に参加し、地域の方々とよりよい関係を築けるように努力していきたいと思えます。

第55警戒隊 基地業務小